

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第1回甲州市介護保険運営協議会
開催日時	令和4年7月1日(金) 午後1時30分～午後2時50分
開催場所	甲州市役所 2階 第一会議室
議 題	(1) 介護保険事業について (2) 介護予防事業について (3) 地域包括支援センター事業について (4) 日常生活圏域ニーズ調査等について (5) 地域密着型サービス事業所の募集について (6) その他
出席委員	鶴田 甲敬委員、深田 信子委員、深澤 告委員、荻原 五十鈴委員、 加田 顕秀委員、早乙女 修一委員、手塚 友規委員、岩波 充宏委員、 中村 功委員、岡村 久美子委員、雨宮 正明委員、中村 文雄委員
会議の公開又は 非公開の区分	公開
会議を一部公開 又は非公開とし た場合の理由	
傍聴人の数	0 人
審 議 概 要	別紙議事録のとおり
事務局に係る事項	介護支援課 介護保険担当、介護予防・高齢者支援担当、地域包括 支援担当 0553 - 32-5066 (内線 1261、1281、1271) 5人
そ の 他	

令和4年度 第1回甲州市介護保険運営協議会会議録

日時：令和4年7月1日 金曜日 午後1時30分～午後2時50分

場所：甲州市役所 2階 第一会議室

出席者：12名

欠席者：なし

事務局：5名

傍聴者：なし

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（省略）
- 3 市長あいさつ
- 4 委員の紹介及び事務局紹介
- 5 介護支援課長あいさつ
- 6 会長あいさつ
- 7 会長及び職務代理者の選出
- 8 議事
 - (1) 介護保険事業について
 - (2) 介護予防事業について
 - (3) 地域包括支援センター事業について
 - (4) 日常生活圏域ニーズ調査等について
 - (5) 地域密着型サービス事業所の募集について
 - (6) その他

○会長：介護保険運営協議会の会議録について、公開ということによろしいか。
（一同、異議なし）公開といたします。

議事（１）～（３）までについて、一括議事として提案するので、事務局からの説明をお願いします。

○事務局：（１）～（３）について説明。

○会長：委員から質問や意見があればお願いします。

○委員：認知症サポーター養成講座について、修了者はサポーターなど具体的に何か活動をしているのか。また受講済証などがあるのか。

○事務局：以前配布していたオレンジリング（全国共通）は廃止となり、現在は目に見える形での受講の証明は交付していない。養成講座修了者の活動について、特別に何か役割を行っているわけではない。養成講座は、受講を通じて認知症に関する正しい認識や理解を持ち、地域において認知症のある方への見守り役になってもらうことを目的としている。

○委員：目的については理解した。受講して終わりになるのか。
サポーターとしての役割などはないのか。

○事務局：受講したサポーターの中で、希望者、熱意のある方については、キャラバンメイトとして認知症サポーター養成講座の講師を務めてもらえるよう、説明を行い、キャラバンメイトの養成に進んでいく。

○会長：他に質問がないようなので、次の議事（４）について事務局から説明をお願いします。

○事務局：（４）について説明。第９期のアンケート調査の項目について、提案等あれば意見をお願いしたい。

○委員：６５歳以上の方にニーズ調査を行うことについて。

甲州市の介護保険の現状について、市民が「知りたい」または「知らなくてもよい」と考えているのかを聞く項目を設けて、知りたいと考える人がいるのであれば、広報などにもっと取り上げてよいのではないかと。広報に記載があっても市民には全然わからない。介護サービスを利用していない人にとっては介護保険のメリットもわからない。介護保険料を負担してもらっただけでなく、市民に甲州市の状況が県下でどのような位置にいるのか踏まえるような周知の方法が必要ではないか。

介護保険の現状について、市内の高齢者人口の推移や高齢者世帯数などの数値が出ているが、甲州市の数値だけ見てもインパクトがない。県下で

何番目になるのかという情報が必要。甲州市は高齢化率及び転出超過が共に県内3番目に高く、そのような状況をもっと市民がわかるような周知方法が必要ではないか。他市町村と比較した甲州市の介護の現状を踏まえ、介護予防のための健幸隊などの取組も行っているといったことを、もっと市民に周知して、市の取組や現状について理解を得られるような広報活動も必要。ニーズ調査の中でそういうことも含めることが必要ではないか。

○会長：事務局の説明では、現段階で調査項目や調査方法は前回と変更なしということだったが、委員からの提案について事務局の考えをお願いしたい。

○事務局：甲州市の置かれた状況についてもっと知りたいか市民に確認した方がよいのではないかと、という意見と受け止めている。個人的に、知りたいという意見があるか確認を待たず、もっと積極的に状況を知ってもらう広報活動が必要と考える。アンケートに含めることももちろん良いと思うが、項目数が増えると回答率に影響が出る可能性もあるため、提案いただいた項目を含めるかどうかについては内部で検討させていただく。広報の方法については、より工夫をして前向きに検討させていただく。

○会長：他に意見があればお願いします。

○委員：アンケート調査の回収率(70%弱)について。調査票そのものは難しい内容ではないと思われるが、工夫をして回収率を上げた方が正確な調査ができると思うので検討をお願いしたい。

○事務局：回収率を上げる工夫について、前回、介護認定調査員が個別に調査で訪問する際に在宅実態調査を行ってもらえるよう依頼した。今回も介護認定調査員に依頼する等の工夫をしていきたいと考えている。

○会長：他に意見がないようなのでこの件についてはよろしいか。

今後のスケジュールについて、事務局の説明にもあった通り、次回9月に運営協議会を行い、決定する。意見などを反映した調査票案が8月中旬に郵送されることになっている。その際に再度意見を伺うようにしたい。

議事事項の(5)について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：(5)について説明。

○会長：委員から質問や意見があればお願いします。無いようなので、令和4年度の地域密着型サービス事業者の募集については、承認とする。事務局では公募に向けた準備をお願いしたい。

○委員：公募にかかる状況について、施設待機者がまだ多いのか、それとも事

業者の公募も必要ないような状況になっているのか。

○事務局：今年度募集予定の施設は入所施設ではなく、待機人員がいるわけではないが、特別養護老人ホームでは、まだすぐに入所できないような状況である。今回募集予定の二つの事業は、潜在的なニーズはあるものと考えている。

○会長：最後に、(6) その他で委員から何か意見等あればお願いする。

○委員：甲州市の中の特別会計で、一番大きいのが国保、次に介護保険だったと思う。団塊の世代が75歳を迎える2025年に、国保会計と介護保険会計が逆転するような動向があるのか。

○事務局：現時点で即答はできない。会計の総額規模の話ということで、次回までに確認をしておく。推計にはなるので、どのようになっているのか、財政とも確認をしながら研究させていただきたいと思う。

○会長：他に特にないようなので、以上をもって議事を終了する。

9 閉会

午後2時50分終了